

こたえ

第46号 (2022年1月)
発行 九鬼コミュニティセンター
電話 0597-29-2164

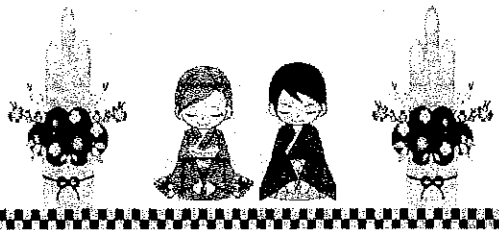
あけましておめでとう
おめでとうございます

令和四年 元旦



旧年中は、コミュニティセンター事業に、多大なご協力・ご参加を賜り厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



大腸がん検診のお知らせ

〈容器配布日時〉

1月18日(火)

午前9時～9時30分

年に1回、大腸がん検診を受けましょう!

【料金】300円



〈お願い〉

コロナウイルス感染予防のため、3密(密閉・密集・密接)を避け、手洗いと手指消毒、マスクを着用し、換気に注意してご利用していただきますよう、皆さまのご協力をお願い致します。

九鬼の
おもしろ
歴史

九鬼の陸上交通路

平安末期、八鬼山峠道(熊野街道)伊勢路があった。「治承三年(1179年)後白河法皇編の「梁塵秘抄」に「熊野へ参るには紀路と伊勢路のどれ近しどれ速し、広大慈悲の道なれば、紀路も伊勢路も遠からず」との歌があり、現在の世界遺産熊野古道伊勢路の八鬼山峠道を全国から巡礼が通っていたので

す。
この道は九鬼の人たちも出かける時には、いつも通っていた道でした。又その後、貞和年間(1345年)1349年)南北朝時代、九鬼氏の祖、藤原隆信が伊勢国三重郡佐倉からやってきて、九木峠から九鬼へ下りてきたと思われ

ます。
「紀州九木浦庄屋記録」によると、元文二年(1737年)八鬼山峠で狼を殺し、

九木浦庄屋吉太夫へ渡す。ある。(約15700m)又、田海道に狼が出て尾はし(尾鷲)から狩人と呼ばれる(尾鷲)へは早田浦道を経て2でもらったり、元太夫の妻の病気で、九鬼から氷を荒の神堂へ取りに行ったことなど、九鬼から八鬼山峠道へ上り下り通った記録があります。

明治になると「九木浦地誌」に「この道は「田海道海岸より頂き(八鬼山)まで、田海道川沿いに登り、29町34間1尺2寸なり」とある。(約3200m) 九鬼から行野(大曾根)向井(矢浜)(熊野街道)郡役所(北浦)の行程は3里33町59間1尺と

元標とは、道路の起終点を示す標識のことです。



九鬼地積図より